

きらり いわた 人



県内唯一の女性特別救助隊員

鈴木 あゆみさん

1991年生まれ
岩手県一関市出身 磐田市在住
趣味は料理とゴルフ

県内唯一の女性^{*}特別救助隊員として活躍している鈴木あゆみさんにお話を伺いました。

消防士になろうと思ったきっかけは？

地元の高校を卒業して、ソフトボールの実業団チームに入部するために磐田へ来ました。チームでは約3年間プレーし、多くの方に支えてもらい、充実した時間を過ごすことができました。そこでお世話になった皆さんに恩返しをしたい、ずっと関わりを持っていたいと思い、公務員を目指しました。昔から体を動かすことが好きだったので、公務員の中でも消防士を目指しました。

女性特別救助隊員として仕事をする上で意識していることはありますか？

現場に出た際、傷病者への声掛けなどは、女性ならではの視点を大事にしています。相手が安心できるように心のケアも意識しながら今後も仕事に取り組みたいです。また、現場活動をスムーズに行うために、隊員と常にコミュニケーションを取ったり、訓練を重ねたりしてチームワークを高めることを意識しています。

大変だと思うことは何ですか？

大変だと思うことはありませんが、体力面やパワーではどうしても男性になれない部分があります。しかし、自身の努力によって補える部分もあるの

で常に努力しています。男性と同じように深夜出勤もしますし、同じ訓練を行っているので、今後も鍛錬を積んでいきたいと思っています。

磐田市の好きなところはありますか？

磐田に来て感じたことは、交通の便がいいということです。また、田舎過ぎず都会過ぎず、とても住みやすいと感じます。私は岩手県出身のため、磐田のように雪の降らない暖かく穏やかな気候はすごく新鮮に感じました。

今後の目標をお願いします

女性の消防職員を増やしたいです。先輩では産休や育休を経て復帰し、今も現場でバリバリ活躍されている方がいて、とても尊敬しています。自分も救助隊に限らず、できることをどんどん増やしていきたいと思っています。より多くの女性が消防の世界で活躍できるように、これから入ってくる女性隊員の見本を目指して頑張っていきたいです。

市民の皆さんへ

寒くなつて暖房器具などを使う機会が増えてきたと思います。この時期は乾燥しやすいので、火事などに十分気を付けて使用してください。また、同時に風邪やインフルエンザもはやる季節なので、体調管理を万全にして冬を乗り切りましょう。

※特別救助隊…人命救助活動を主要な任務とする消防の専門部隊のこと。消防吏員の中でも優れた気力や体力、判断力を持ち、高度で専門的な知識と救助技術を備えた者により構成されている